

# 中学歴史プリント（過去問類似）

## 江戸時代

名前

得点

/8

**問1** 江戸時代後期、織物業などの盛んな地域で見られた、一つの建物に多くの働き手を集め、手作業による分業と協業を通じて製品を生産する仕組みを何といいますか。 (2026年 愛媛公立入試 類似)

1. 工場制手工業（マニュファクチュア）      2. 問屋制家内工業      3. 機械工業      4. 大名貸

**問2** 18世紀前半に、第8代将軍である徳川吉宗が主導した幕政改革では、幕府の財政を立て直すために新田開発が奨励されました。この一連の改革の名称として正しいものを選んでください。 (2016年 鳥取公立入試 類似)

1. 享保の改革      2. 寛政の改革      3. 天保の改革      4. 慶安の御触書

**問3** 1700年ごろの江戸時代中期、前代の政策によって低下していた貨幣の質を元に戻し、急激な物価の上昇を抑えようと試みた人物は誰ですか。 (2019年 愛媛公立入試 類似)

1. 新井白石      2. 田沼意次      3. 松平定信      4. 水野忠邦

**問4** 16世紀に日本へキリスト教が伝来した経緯と、その初期の動きについて述べた文として正しいものはどれですか。 (2020年 鳥取公立入試 類似)

1. フランシスコ・ザビエルが鹿児島に来日し、イエズス会を通じて布教が開始された。      2. ルイス・フロイスが長崎に来日し、プロテスタントの教えを広めた。      3. マルティン・ルターが日本を訪れ、天皇にキリスト教の公認を求めた。      4. 徳川家康の招きにより、イタリアの宣教師がローマ教皇の親書を携えて来日した。

**問5** 17世紀後半から18世紀初めにかけての上方を中心とした文化（元禄文化）について述べた文として、井原西鶴の活動内容として最も適切なものはどれですか。 (2021年 三重公立入試 類似)

1. 大阪を拠点とし、町人の欲望や暮らしを題材にした小説を執筆した。      2. 人形浄瑠璃や歌舞伎の脚本を書き、義理人情の葛藤を描いた。      3. 『見返り美人図』に代表される、人々の生活を描いた浮世絵を創始した。      4. 装飾豊かな屏風画や工芸品を制作し、独自の様式美を確立した。

**問6** 天保年間に発生した「大塩平八郎の乱」に関する記述として、その背景や内容を正しく説明しているものはどれですか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)

1. 大坂町奉行所の元役人が、飢饉に苦しむ人々を救うために豪商を襲い、軍資金や米を分け与えようとした。      2. 徳川綱吉が発令した「生類憐みの令」に反対し、武士や町人が大坂周辺で大規模なデモを行った。      3. 裁判の基準となる「公事方御定書」の内容に不満を持った農民たちが、江戸幕府に対して一斉に反旗を翻した。      4. キリスト教への弾圧が強まる中、九州地方の領主による過酷な年貢の取り立てに反発した人々が蜂起した。

**問7** 18世紀末のフランスにおいて、市民革命の混乱の中から登場し、皇帝としてヨーロッパ各地へ侵攻したナポレオンの行動が、周辺諸国に与えた歴史的な影響として最も適切な説明はどれか。 (2026年 山口公立入試 類似)

1. フランス軍の侵攻を受けた各地で民族意識が高まり、近代国家をつくろうとする動きが強まった。      2. ロシアとの軍事同盟を強化したことで、ヨーロッパ全域にわたる長期的な絶対王政の安定がもたらされた。      3. スペインやポルトガルの植民地支配を全面的に支援し、中南米における旧来の支配体制を維持させた。      4. 産業革命を主導していたイギリスを武力で完全に制圧し、ヨーロッパ全土に社会主義の思想を広めた。

**問8** 江戸時代中期の老中、田沼意次が行った、幕府の財政難を解決するための政策として最も適切な説明はどれですか。 (2020年 佐賀公立入試 類似)

1. 商人の特権を認める代わりに、株仲間から税を徴収して貨幣経済による収入を増やそうとした      2. 質素倹約を命じるとともに、農村を離れた人々を村に帰して農業生産の回復を最優先した      3. 米の増産のために大規模な新田開発を行い、年貢として納められる米の量を増やすことに専念した      4. 外国との交流を一切断ち切ることで、国内の金銀が海外へ流出するのを防ごうとした

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>工場制手工業（マニファクチュア）</b>	江戸時代中期に主流だった、商人が農民に原料や道具を貸し出して自宅で加工させる「問屋制家内工業」から一歩進んだ形態です。広い屋根の下に多くの人々が横一列に並び、糸を紡ぐ工程や布を織る工程をそれぞれ分担して効率的に作業を進めるのが特徴で、のちの明治時代の産業革命（機械工業）へとつながる重要な段階となりました。
問2	<b>答え 1</b> <b>享保の改革</b>	徳川吉宗によるこの改革では、新田開発のほかに、大名に米を献上させる代わりに江戸滞在期間を短縮する「上げ米の制」などが実施されました。これにより一時的に幕府の財政は改善されましたが、農民への年貢増徴による負担増などの問題も抱えていました。
問3	<b>答え 1</b> <b>新井白石</b>	元禄時代に行われた貨幣改鑄（質を落とした貨幣の大量発行）は幕府に利益をもたらした一方で、貨幣価値の下落と物価の高騰を招いていました。新井白石はこの経済的混乱を収束させるため、貨幣に含まれる金・銀の含有率を以前の水準まで戻す政策を断行しました。これは流通する貨幣量を抑えて物価を安定させることを目的としていました。
問4	<b>答え 1</b> <b>フランシスコ・ザビエルが鹿児島に来日し、イエズス会を通じて布教が開始された。</b>	1549年、イエズス会の宣教師フランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸したことで、日本に初めてキリスト教が伝わりました。当時、カトリック教会はヨーロッパでの宗教改革に対抗するため、イエズス会などの組織を通じてアジアや日本への布教活動を積極的に進めていました。その過程で、九州のキリシタン大名によって天正遣欧少年使節がローマ教皇のもとへ派遣されるなどの交流も生まれました。
問5	<b>答え 1</b> <b>大阪を拠点とし、町人の欲望や暮らしを題材にした小説を執筆した。</b>	井原西鶴は大阪の豊かな町人層の出身であり、当時の新興勢力であった町人たちの現実的な生き様を肯定的に、時に鋭い風刺を込めて描きました。他の選択肢について、脚本で有名なのは近松門左衛門、浮世絵の創始者は菱川師宣、装飾画を大成させたのは尾形光琳であり、これらはいずれも元禄文化を代表する人物ですが、活動分野が異なります。
問6	<b>答え 1</b> <b>大坂町奉行所の元役人が、飢饉に苦しむ人々を救うために豪商を襲い、軍資金や米を分け与えようとした。</b>	大塩平八郎は、自らの蔵書を売却して資金を作り、困窮する人々の救済を訴えましたが、奉行所や豪商がこれに応じなかったため、武装蜂起という手段に出ました。選択肢にある「生類憐みの令」は江戸時代前期の徳川綱吉による政策であり、「公事方御定書」は徳川吉宗による法典整備、キリスト教に関連する蜂起は島原・天草一揆を指すため、いずれも天保年間の出来事ではありません。
問7	<b>答え 1</b> <b>フランス軍の侵攻を受けた各地で民族意識が高まり、近代国家をつくろうとする動きが強まった。</b>	ナポレオンは征服した土地にフランス革命の理想（自由・平等）やナポレオン法典を広めました。同時に他国による支配への抵抗感も生み出しました。これが各地域での民族意識（ナショナリズム）の覚醒を促し、19世紀以降の近代国家形成（国民国家の誕生）へとつながる大きな要因となりました。
問8	<b>答え 1</b> <b>商人の特権を認める代わりに、株仲間から税を徴収して貨幣経済による収入を増やそうとした</b>	それまでの江戸幕府は、主に農民から徴収する「米（年貢）」を財政の基盤としてきました。しかし、商業が発展し貨幣経済が浸透するなかで、田沼意次は商人の力を利用する方針へと転換しました。同業者組織である「株仲間」を積極的に公認し、その見返りとして運上（うんじょう）や冥加（みょうが）といった税を納めさせることで、幕府の現金収入を増やそうと試みました。